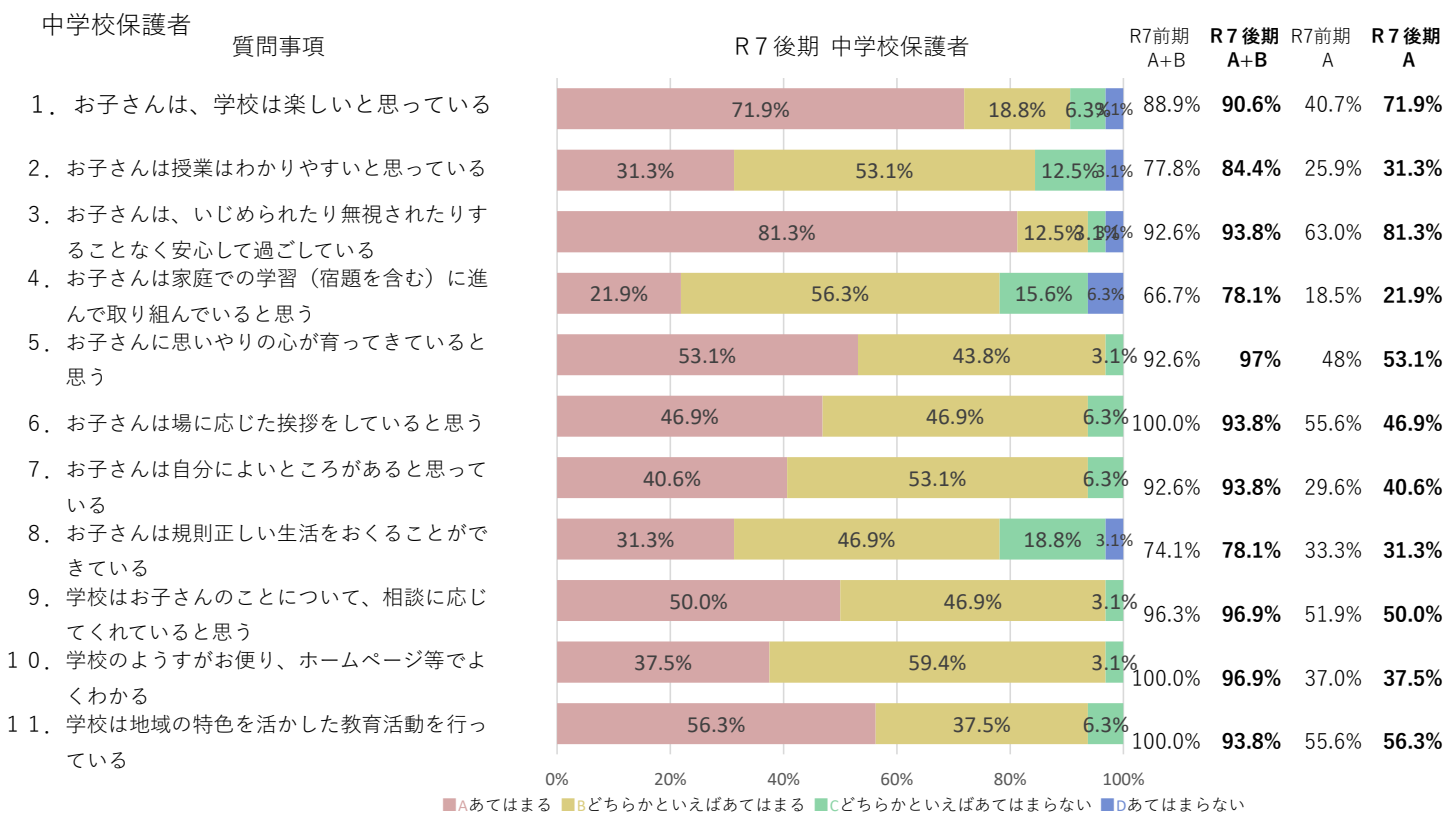
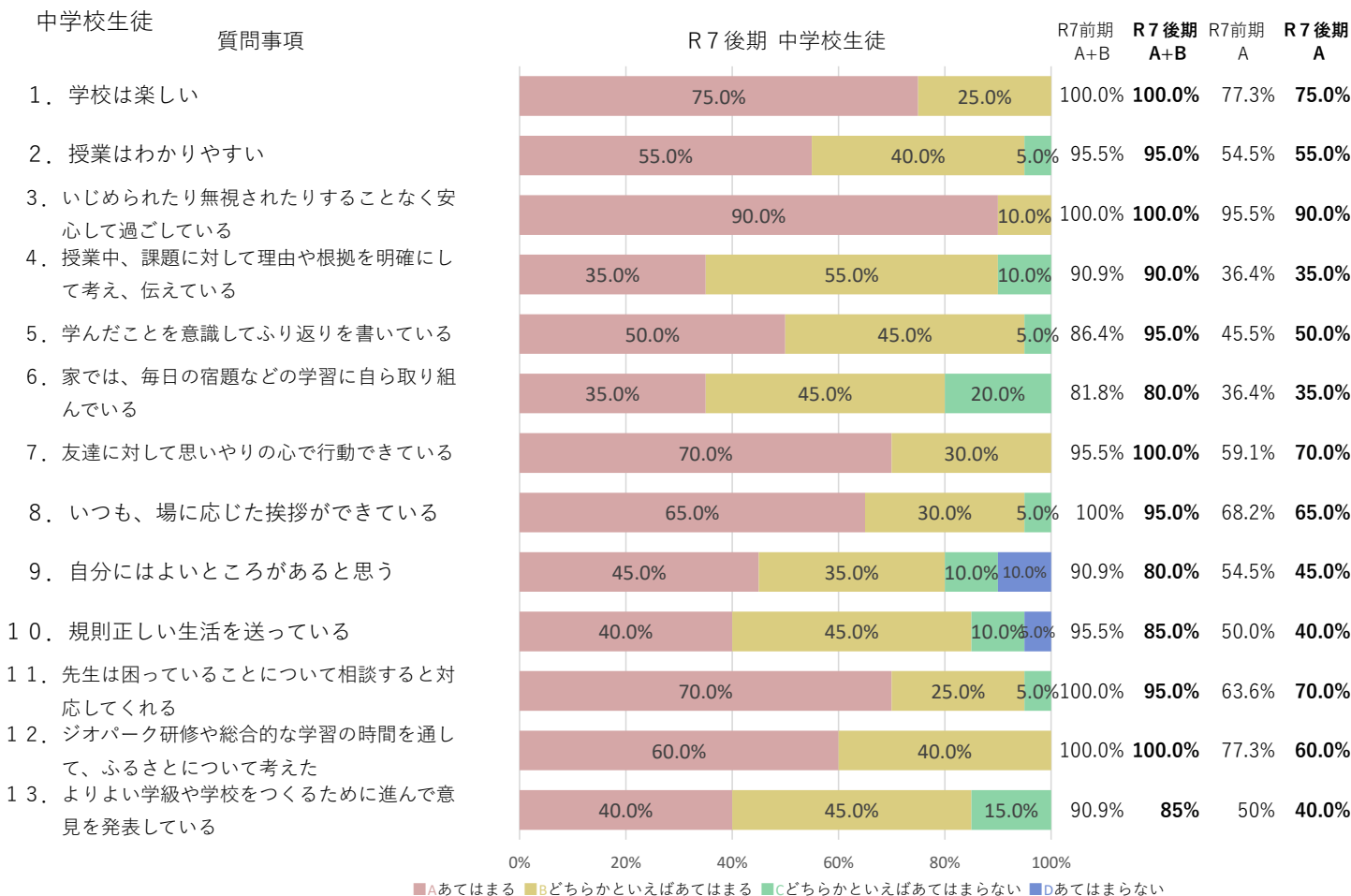


令和7年度後期 学校アンケート集計結果等について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。後期学校アンケートの集計結果をお知らせいたします。今後この結果を踏まえ、教職員一同、一層の改善に努めて次年度につなげていきたいと考えております。

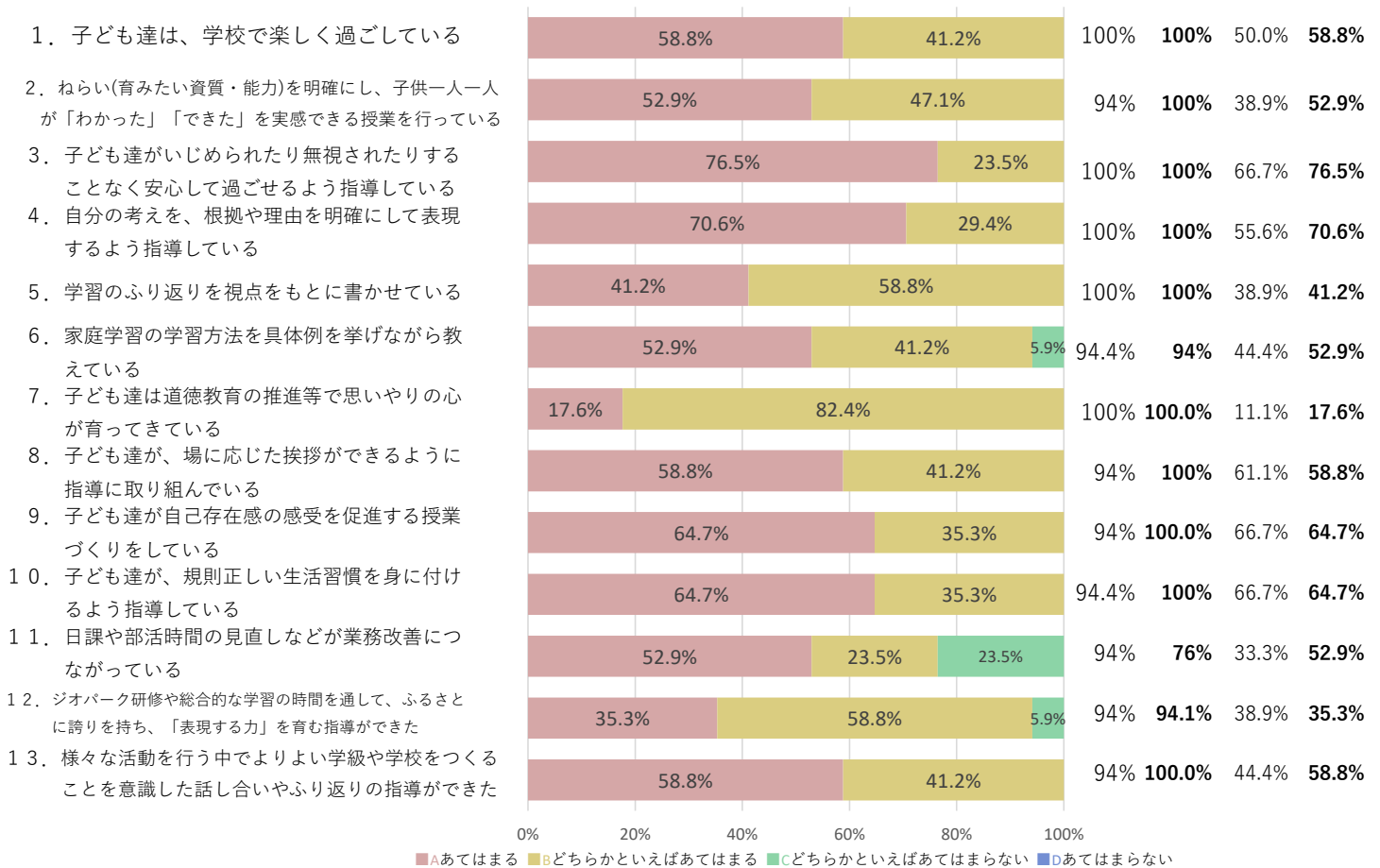


教職員（小学校+中学校）

質問事項

R7後期 教職員

R7前期 A+B R7後期 A+B R7前期 A R7後期 A



【よかった点○と課題▲と改善点☆】

(学習面について)

○授業では「学んだことを意識してふり返りを書いている」と実感している生徒が増加した。

☆生徒が「分かった」「できた」と実感できる授業を目指し、つけたい力を明確にした課題を設定するとともに、単元の見直しを持って授業にのぞめるようにする。

▲「家庭学習の取組」について、保護者の評価は多少向上したが、生徒の評価は改善に至っていない。

☆授業で学んだことが家庭学習につながるよう、各教科で出す課題を見直し、内容を工夫していく。

(生徒指導面について)

○「学校は楽しい」の項目において、「A：あてはまる」と回答した生徒は75%で、前期に引き続き肯定的な回答は100%を維持している。あわせて、保護者と生徒の受け止め方の差も縮小している。

☆「楽しい学校」とはどのような学校かを生徒自身が見つけ直すことができるような声かけを継続し、主体的に学校の諸活動へ取り組めるよう支援していく。

▲「規則正しい生活を送っている」の設問では前期より生徒の肯定的な回答が減少した。

長期休業後も生活リズムが整にくい生徒が見られることが要因の一つと考えられる。

☆今後も「リズムアップウィーク」の取組を継続するとともに、生徒会を中心とした生徒主体の取組とし、家庭とも連携を図っていく。

▲「自分にはよいところがあると思う」の設問では、前期に比べて生徒の肯定的な回答が減少している。

学期が進むにつれて、学習や学校生活の充実感に個人差が見られるようになり、自信を十分に高められていない生徒が見られる。

☆自分に自信が持ちにくい生徒への個別の声かけを行うとともに、回答結果を保護者懇談に活用し家庭と連携した支援を進めていく。

【学校関係者評価委員会より】

- ・中学校でこれだけ「学校が楽しい」と思える子が多いのはよいことだ。是非継続して欲しい。
- ・ジオ育はこの地域で充実させることができるので、今後も地域の資源や人材を活用したジオ育に取り組んでいくことができればよい。
- ・生徒アンケート項目の「13. 意見を発表している」について、質問事項の表現を変更する学校が総力を挙げて子どもの「伝える力・表現力」を育てるとするならば、この項目は2つの指標となるのではないかと。
- ・活動の成果をいろいろな人にほめてもらうことで自己肯定感が上がると思うので、学校だよりを現在のHPに記載するだけでなく、コミュニティセンターにデータを送ってもらえれば、地域の方に閲覧もできる。